

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道33号 <small>みさか</small> 三坂道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局																		
起終点	自：愛媛県上浮穴郡久万高原町東明神 至：愛媛県松山市久谷町大久保	延長	7.6km																				
事業概要	<p>国道33号は、高知市を起点とし久万高原町を経て松山市に至る全長約120kmの幹線道路で、高知県・愛媛県両県の沿線地域の生活を支える重要な路線である。一方、降雨による異常気象時事前通行規制区間が全区間の45%を占めているなど様々な課題を抱えている。このため、松山と高知を規格の高い道路で連結し、地域集積圏間の交流を促進するため、地域の実情に応じた高速度サービスを提供する地域高規格道路の計画路線として高知松山自動車道が指定され整備を進めている。三坂峠付近は、特に線形不良箇所が多く、異常気象時の事前通行規制区間にもなっており、加えて冬期に積雪・凍結による通行障害が生じている。</p> <p>国道33号三坂道路は、こうした区間について自動車専用道路として整備し、異常気象による事前通行規制や、積雪・凍結による通行障害を解消することにより、地域間の交流や生活・文化・産業の発展を支援することを目的とし、平成23年度の供用を目指した整備を進めている。</p>																						
H8年度事業化		H11年度用地着手	H11年度工事着手																				
全体事業費	約387億円	事業進捗率	約90%	供用済延長	0.0km																		
計画交通量	6,200台/日																						
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">B/C</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">(事業全体) 1.0</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">(残事業)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">8.5</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.0	(残事業)	8.5	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総費用</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">(残事業)/(事業全体) 53/441億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">事業費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">37/425億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">維持管理費</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">16/16億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体) 53/441億円	事業費	37/425億円	維持管理費	16/16億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総便益</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">(残事業)/(事業全体) 448/448億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">走行時間短縮便益</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">392/392億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">走行経費減少便益</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">43/43億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">交通事故減少便益</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">13/13億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体) 448/448億円	走行時間短縮便益	392/392億円	走行経費減少便益	43/43億円	交通事故減少便益	13/13億円	基準年	平成22年
B/C	(事業全体) 1.0																						
(残事業)	8.5																						
総費用	(残事業)/(事業全体) 53/441億円																						
事業費	37/425億円																						
維持管理費	16/16億円																						
総便益	(残事業)/(事業全体) 448/448億円																						
走行時間短縮便益	392/392億円																						
走行経費減少便益	43/43億円																						
交通事故減少便益	13/13億円																						
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量変動</td> <td style="width: 25%;">: B/C=10.2 (交通量+10%)</td> <td style="width: 25%;">B/C= 7.0 (交通量-10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費変動</td> <td>: B/C= 7.9 (事業費+10%)</td> <td>B/C= 9.1 (事業費-10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間変動</td> <td colspan="2">: B/C= 8.3 (事業期間+10%)</td> </tr> </table>					(残事業) 交通量変動	: B/C=10.2 (交通量+10%)	B/C= 7.0 (交通量-10%)	事業費変動	: B/C= 7.9 (事業費+10%)	B/C= 9.1 (事業費-10%)	事業期間変動	: B/C= 8.3 (事業期間+10%)										
(残事業) 交通量変動	: B/C=10.2 (交通量+10%)	B/C= 7.0 (交通量-10%)																					
事業費変動	: B/C= 7.9 (事業費+10%)	B/C= 9.1 (事業費-10%)																					
事業期間変動	: B/C= 8.3 (事業期間+10%)																						
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の時間損失の削減が見込まれる。 ・JRバスの所要時間の短縮が見込まれる。(久万高原町～JR松山駅) ・特急停車駅へのアクセス向上(久万高原町～JR松山駅) ・松山空港(第二種空港)へのアクセス(久万高原町～松山空港) <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山港(重要港湾)へのアクセス向上(久万高原町～松山港) ・農林水産品の流通利便性向上が見込まれる。(久万高原町～松山IC) <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「高知松山自動車道」の一部を構成 ・日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成(高知市～松山市 [R33現道→高知松山自動車道]) ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上(久万高原町～松山市) <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模イベントである「H29年開催予定『愛媛国体』」を支援が見込まれる。(久万高原ラグビー場～JR松山駅、久万高原ラグビー場～松山空港、久万高原ラグビー場～松山観光港) ・主要観光地へのアクセス向上が見込まれる。(久万スキーランド、美川スキー場、久万カントリークラブ、久万高原ふるさと旅行村、久万美術館等) <p>⑥安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設へのアクセス向上(三次医療施設(愛媛県立中央病院)～久万高原町立病院) 																						

⑦災害への備え

- ・ 第一次緊急輸送路の指定あり
- ・ 並行区間が通行止めの場合における延長・所要時間2.5倍の迂回が解消
- ・ 事前通行規制区間及び冬期のチェーン規制区間を回避

⑧地球環境の保全

- ・ CO2 排出削減が見込まれる。

⑨生活環境の改善・保全

- ・ NOX、SPM排出量の削減が見込まれる。

⑩その他

- ・ 三坂道路への交通の転換により現道の交通安全性が向上
- ・ 救急搬送時の搬送患者への負荷軽減
- ・ 産婦人科病院へのアクセス向上
- ・ 線形不良箇所の解消

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

- ・ 周辺の自治体を中心に構成された国道33号線整備促進期成同盟会より、積極的な整備促進について要望活動が続けられている。

県知事の意見：

- ・ 事業継続について、異議ありません。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

(周辺道路の整備状況)

- ・ 平成10年 3月 国道379号 岩谷バイパス 起点(岩谷)～川登工区 供用開始
- ・ 平成20年 3月 国道379号 岩谷バイパス 川登工区・川登～万年工区 供用開始
- ・ 平成22年11月 国道440号 地芳道路 供用開始

(その他)

- ・ 平成20年 4月 松前町 大型ショッピングセンターオープン

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 全7.6kmの事業区間のうち、およそ半分を占めるトンネル区間は貫通済み
(平成18年：第一トンネル(L=3.1km)、平成19年：第二トンネル(L=1.3km))
- ・ 用地取得は完了済み
- ・ 全体の事業進捗率は約90% (平成21年度末)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成23年度供用予定

施設の構造や工法の変更等

今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

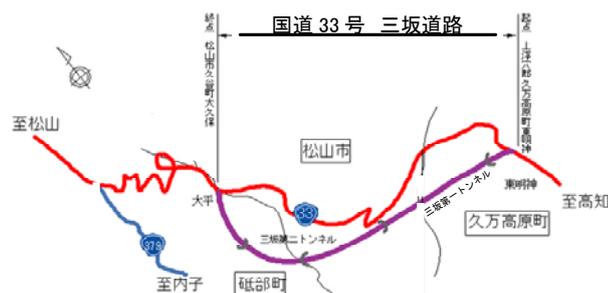
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。